

新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン

令和 3 年 2 月 8 日現在

安茂里松ヶ丘少年野球

本題は、安茂里松ヶ丘少年野球の活動において、参加選手、指導者、保護者、チーム関係者が厳守すべき事項を記載し、記載された内容を承諾した選手、指導者、保護者、チーム関係者が活動に参加できるものとする。

感染予防対策

- ① 毎朝の検温を実施すること。
- ② 発熱、咳、倦怠感などの風邪の症状および味覚臭覚の異常を感じた者は参加しない。
- ③ 14 日以内に感染者との接触や、濃厚接触者と特定された場合は参加しない。
- ④ 上記②、③に該当した者は、監督、保護者会長に速やかに報告する。
- ⑤ 選手、指導者、保護者、チーム関係者は常にマスクを着用すること。なお練習中及び試合中はマスクを外してもよいが、ベンチ待機中は着用するよう心がける。
- ⑥ 目、鼻、口には極力触らないように心がける。
- ⑦ 指導者、保護者はグラウンド備え付けのトイレの消毒を随時行う。
- ⑧ 手洗い場にポンプ式石鹸を常設し、こまめな手洗い、アルコール消毒を実施する。
- ⑨ 活動参加者が一定の距離（できるだけ 2m）を確保するように努める。
- ⑩ 大きな声での練習、指導、応援を控える。
- ⑪ 屋外運動場施設において唾、痰を吐く行為を厳禁とする。
- ⑫ 強度が高いトレーニング時はより一層距離を空ける。
- ⑬ タオル、ペットボトル、コップの共有は避ける。
- ⑭ 飲食時は対面を避け、距離を保つ。
- ⑮ 飲みきれなかったペットボトル等をグラウンド内や路上に捨てない。
- ⑯ JSBB 健康チェックシートを活用し日々の体調を記録する。
- ⑰ 感染拡大地域への個別の往来は極力避ける。
- ⑱ 大会参加時は健康チェックシートを大会本部に提出することに了承すること。
- ⑲ スポーツイベント開催・実施時の感染防止策チェックリストを常備する。
- ⑳ 活動後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症に感染した場合は、速やかにチームに報告し、チーム責任者は連盟に報告し、直近の大会を辞退する。
目に見えないウィルスとの戦いであり、誰にでも感染のリスクがあることを自覚して行動し、万一感染者がチーム内で出た場合は活動自粛となるが、誹謗中傷せず、チームで仲間を守る意識で取り組む。

以上